

防災倉庫の増設

～避難所の生活環境の向上を図るための資器材を充実させます～

1 目的

避難所等の防災倉庫を増設し、災害対応に係る資器材を増強することで、避難者に対し迅速かつ円滑な対応を行えるよう防災・減災体制の整備を図っていきます。

2 事業内容

春日井市地域防災計画に定める行政備蓄として、市内9か所の防災拠点（味美ふれあいセンター、南部ふれあいセンターなど）、7か所の補完施設[※]（知多公民館、第一希望の家など）及び41か所の指定避難所に設置されている防災倉庫に必要な資器材を備蓄していますが、避難所の生活環境の向上を図るための資器材（備蓄食糧と飲料水の拡充や災害時に幅広く活用できる資器材、新型コロナウイルス感染症対策用資器材など）を備蓄するため、新たに防災倉庫を増設していきます。



※補完施設：防災圏域内の地理的条件、人口等に応じ、防災拠点の役割及び機能分担する施設。

3 予算額

12,463 千円

防災倉庫を増設するのに必要な費用
（防災拠点9施設、補完施設2施設
の計11施設を予定）

配備する主な備蓄資器材

【増強】

- ・飲料水
- ・クラッカー
- ・アルファ米（わかめ）
- ・アルファ米（白飯）
- ・毛布

【新規・コロナ対策】

- ・段ボール間仕切り
- ・段ボールベッド
- ・簡易ベッド
- ・ブルーシート

4 過去の実績

避難者の生活環境は、年齢、疾患の有無、性別などにより異なることから、様々な備蓄資器材の選定をする必要があり、これまで、聴覚障がい者や乳児に対する資器材を配備するなど避難所生活への配慮を推進しています。

（この他の主な備蓄資器材）

食糧、飲料水、ガス発電機、LEDランタン、フローレンライト、段ボール間仕切り、簡易テント、簡易トイレ、毛布、文房具セット、食器セットなど